

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：事務局

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第1回 防災・あんしん部会			
(2) 開催日時	令和3年9月27日(月) 13:30 ~ 15:30			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟3階 集会室			
(4) 出席した 委員、事務局	委員 (部会長：志村 陽子) <敬称略>			
	名川 勝	蛭子 明子	山内 京子	福田 美和
	事務局：宮崎 理恵・秋山 仁志・大本 哲也・江川 奈保美・堀内 蘭			
1 連絡・確認事項				
(1) 司会・書記の確認 (司会：志村部会長、書記：事務局)				
(2) 参加者・配布資料の確認				
(3) 大田区自立支援協議会について				
<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会の役割について確認 <p>障害者総合支援法に定められている会議体。相談支援部会、地域支援部会、防災・あんしん部会の3専門部会がある。</p> <p>質問：専門部会はもともと分かれていたのか、ひとつであったものを分けたのか。 ⇒地域自立協議会だった時は分かれていなかったが、その後、相談支援部会、こども部会、就労支援部会などに分かれて行った。現在は3部会から成り立っている。防災・あんしんに関わらないことでも、地域課題として挙げられること、気づきなどがあれば意見を出していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の専門部会運営の流れ <p>2年任期として委員になっていただいております、2年を区切りとして活動していく。</p> <p>まずは、これまでの活動を振り返り、今後取り組む課題、テーマを検討する。また、委員の皆さんには、各専門部会で取り組む課題、テーマに合わせて、部会に参加していただきたい方「のみ委員」を選出していただきたい。</p> 				
2 議題				
(1) 昨年度までの専門部会活動について ※令和2年度報告書参照				
(2) 防災・あんしん部会の取り組みについて 専門部会のテーマと課題策定				
<委員からの意見>				
<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練も中止になっているが、相互理解の場があると良いと思う。区の現状を警察や消防にも聞いてみたい。 当事者団体の高齢化が進んでいる。コロナで自粛生活を送り体力が低下している方がいる。障がい者と高齢者では使えるサービスに違いがあるため、加齢による衰えの特性を理解してもらえず、サービスが利用できないことがある。 マスクをしていると声が聴きづらいなど、災害時はさらに配慮していかなければならないことがある。ヘルプカードに自分で配慮事項などを記入することが自己理解にもつながる。より良いツールを作成していくことが求められていく。 ヘルプカードの記載や災害時要配慮者名簿に登録することは、周囲の支援を受けることが出来るため、必要であると感じる。視覚障がい者は、部屋の広さや人数、相手の反応が分からないなどの不安がある。コロナ禍でガイドヘルパーの利用にも不安があった。 				

一人では買い物も難しく、目が見えないことで生活が制限されてしまう。周囲の状況が分からず、立ち止まっていた際に突き飛ばされたことがあった。

- ・すべての方に向けた情報保障が確立されると良い。
- ・子どもが通所している施設が時短対応になり、慣れるまでに時間がかかった。緊急事態宣言が解除され、通常に通所時間に戻ることで、またルーティンが変わることに不安がある。
- ・これまでは総合防災訓練で、来場者と防災やヘルプカードについて話す機会があった。新型コロナウイルスの影響によりそういった機会がなくなっている。子どもの障がいについて多くの人に知ってもらいたいという思いがある。
- ・虐待防止、差別解消、合理的配慮の仕組みとして区にどのようなものがあるのか。どういった相談があるのかなど検証してもよいのではないか。

<以上の話を受けて今後取り組みたい内容について>

- ・防災、権利擁護について区がどのような取り組みをおこなっているのか教えてもらうことが良いのではないか。様々な障がいの方がおり文化や理解が異なることもあるので、事例検討も良いのではないか。
- ・学校避難所でも障がいのある方の受入れが可能になるよう進められている。例えば、視力に障がいがある方にとって、壁をつたって移動することがあるため、人が壁際に集まっていると移動できないことがある。障がい種別の困りごとなどを話すことも良いのではないか。
- ・今災害が起こった時の避難のことを考えると、ヘルパーが居たらよいが常にいるわけではない。普段使ってる施設が避難所になることで安心できる。
- ・知的障がいや発達障がいの意見をくみ上げづらい部分がある為、他の部会から話を聞くことも必要かもしれない。
- ・ヘルプカードを作成しているが、なかなか認知が進んでいない印象がある。様々な場で障がいについて周知していくことが求められているのではないか。

<オブザーバーの確認>

- ・話し合いを進め、取り組みたい内容が出てきた時にその内容に合ったオブザーバーからの話を聞くことも良いのではないか。

<次回の予定> 第2回防災・あんしん部会 「大田区の防災のしくみについて学ぶ」

日時：令和3年11月22日（月）

場所：障がい者総合サポートセンター A棟3階集会室